

## 令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立竹矢小学校）

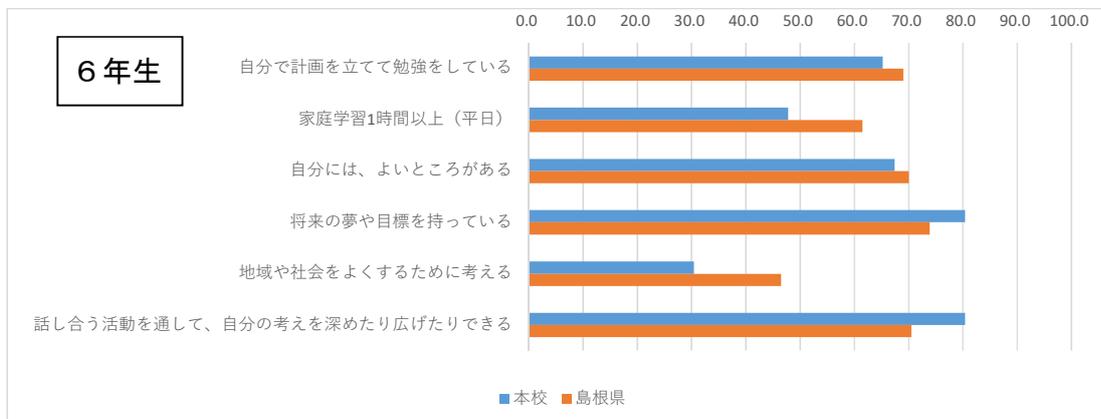
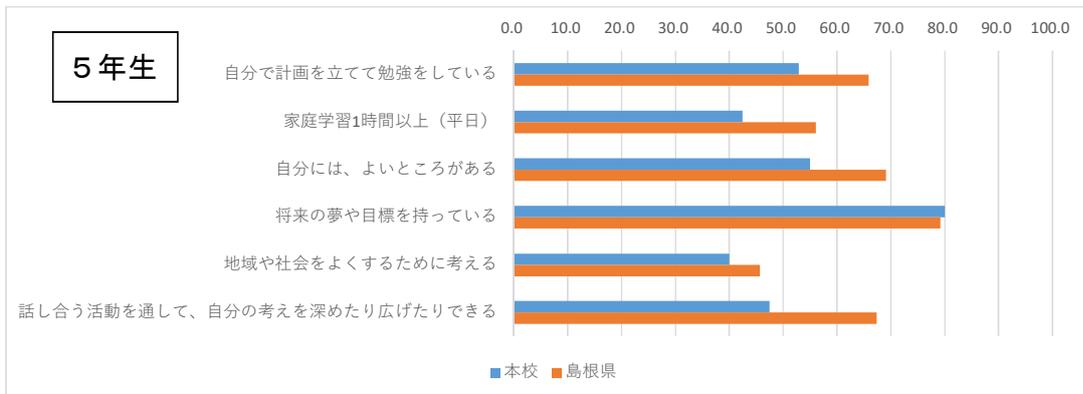
### (1) 学力調査結果から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年国語	<p>○平均正答率は、市や県と同程度であった。</p> <p>○5年生配当の漢字の読み、描写をもとに登場人物の心情を捉えること、等の正答率が目標値を超えている。</p> <p>●漢字の成り立ちや修飾している語句を答える設問等、言葉に関する理解にやや弱さが見られた。</p>	6年国語	<p>○平均正答率は、市や県をわずかに上回っている。</p> <p>○自分の意見とその理由を明確に文章に表す等、いくつかの条件を満たして記述する問題の正答率が比較的高い。</p> <p>●情報と情報との関係を理解し、それらを整理して表現する設問の正答率が低い。</p>
5年算数	<p>○平均正答率は、市や県をわずかに上回っている。</p> <p>○直方体を組み合わせた形の体積、多角形の内角の和、比例関係のもう一方の値を求める設問等の回答率が目標値を超えている。</p> <p>●調査問題終盤の無回答率が高く、設問によっては30%～50%であった。</p>	6年算数	<p>●多くの設問で正答率が目標値に届かず、平均正答率も市や県を下回っている。</p> <p>●比と比の値についての設問の正答率が低い。</p> <p>○文字を使った式、縮尺から実距離を求める計算については、目標値を超える正答率であった。</p>

### (2) 生活意識調査から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

5年	<p>○ICT利用の授業が日常化し、タブレットについては児童の活用意識や技能が高まってきている。</p> <p>●市教委注目の質問項目の多くで肯定的な回答が県を下回っていることから、生活意識を高める方向からも学力向上につなげていく対策が必要である。</p>	6年	<p>○児童が個々の考えを深めていくための手立てとして、学習過程に話し合い活動を効果的に組み込む工夫がなされてきたと言える。</p> <p>●小中で連携した家庭学習への取組を進めていく必要がある。</p>
----	--	----	--

### (3) 意識調査（教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています）



【受検者数】 5年生 40名 6年生 46名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。